



来て/見て/住んで/

Yamakita

議会だより



定例会・臨時会 … P. 2～3

審議結果 … P. 8～9

一般質問 … P. 10～14

No.161

神奈川県山北町
平成22年5月1日

再生紙を使用しています。

平成 22 年第 1 回定例会（3 月議会）

平成 22 年第 1 回定例会が 3 月 4 日から 17 日の 14 日間開催されました。主な議題は平成 22 年度の予算審議ですが、他に条例の制定 3 件、改正 8 件、人事案件 3 件、平成 21 年度一般会計・特別会計の補正予算などが審議され、いずれも原案どおり可決されました。一般会計は、子ども手当や雇用対策事業の新規計上により、前年対比 2.7% 増の 49 億 7134 万円となりました。

22 年度当初予算

本会議での質疑

池谷議員 当初予算はゼロベースの見直しとあるが、見直しはどこか。

答弁 前例踏襲主義でなく、消耗品などひとつひとつを在庫まで確認して、積み上げた必要最低限の予算です。

牧田議員 町民税など直接税が大幅に減っている中で、どのような対策をとったか。

答弁 地域主権という国の方針により地方交付税が増額された。地方債総額が増えない範囲での有効活用及び国・県支出金の見通しを精査して予算編成をしました。

茂木議員 町民参加の協働のまちづくり事業は何か。

答弁 新規事業であり、金額はわずかですが、町民が町政に協力いただくための仕組みづくりです。

杉本議員 転入者が空き家を改修した場合の助成金はいくらか。

答弁 5 年以上住むことが条件で 10 万円を限度に助成します。

細川議員 観光協会等の

イベントがマンネリ化しているが、検討されているのか。

答弁 実行委員会形式で行われているので、改めて話を伝えます。

佐藤議員 童謡唱歌の普及に防災無線での定時放送の曲に利用して流したらどうか。

答弁 十分検討して早期に整備したい。

石田議員 新東名工事による町外への転出者を止める対策を考えているのか。

答弁 個々人の条件や事情も違うが、早めに町から意思を示していきたい。

川村議員 健康づくりポイント事業で健康管理シス

テムを構築するとは何か。

答弁 万歩計とコンピュータと連動して、個々の運動量等を知り、体力の維持を図っていくものです。

瀬戸議員 心の悩み相談はどのような事業か。

答弁 自殺を未然に防ぐためリーフレットの配布・のぼり旗の設置、SOS を発したお宅への訪問等を中心とした啓発事業です。



自殺予防キャンペーンののぼり旗

討 論

賛成 茂木 猛議員

デフレ傾向にある現在、甘い需要予測に基づく先行投資型の大規模な開発、土地利用は失敗のリスクがあるので町の発展のためには、人口減少に歯止めをかけ、定住人口を増やす取り組みが必要です。

予算案では、出産祝い金として 500 万円、医療費の助成対象を中学修了まで拡充する予算として 3400 万円、老人クラブなどからの要望されていた旧山北高校跡地へのパークゴルフ場の開設に 5150 万円と町民ニーズに応えており、定住総合対策事業、7516 万円では、新築祝い金、空家活用助成金、住宅利子補助金など積極的な展開が図られています。

継続して取り組む行政課題と共に、これら新しい事業にも取り組みながら、平成 22 年度からは「第 6 次行政改革大綱」を掲げつつ、行

政体制の整備と質の向上を目指している点を高く評価し、賛成の討論と致します。

討論を終了し採決の結果賛成多数で原案どおり可決。

条例制定

山北町立日向活性化施設の設置及び管理に関する条例
地域住民及び特産品生産団体等の活動拠点とするとともに、都市住民等と地域農業者との憩いとふれあいの場とし、地域農業の活性化を図るものです。

総務環境常任委員会に付託、審査の結果全員賛成で了承され、本会議においても全員賛成で原案どおり可決。

山北町管理道路条例

道路法の適用を受ける道路を除いた一般の通行の用に供される道で、町が権限を有した土地及び道路の設置及び管理について必要な事項を定めるものです。

総務環境常任委員会に付託、審査の結果全員賛成で了承され、本会議において全員賛成で原案どおり可決。

山北町道路占用料徴収条例
道路の占用料の額及び徴収方法について必要な事項を定めるものです。

総務環境常任委員会に付託、審査の結果全員賛成で了承され、本会議において全員賛成で原案どおり可決。

条例改正

山北町表彰条例の改正

一般表彰と功労表彰に加え、新たに町民栄誉表彰の規定を設けるために提案され、全員賛成で原案どおり可決。

山北町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の改正

国における職員の勤務時間及び休暇等の運用が一部改正されたことに伴い提案され、全員賛成で原案どおり可決。

山北町職員の育児休業等に関する条例の改正

地方公務員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い提案され、全員賛成で原案どおり可決。

山北町職員の給与に関する条例の改正

労働基準法の一部を改正する法律が、平成22年4月1日から施行されることに伴い、職員に支給する手当について一部改正を行うために提案され、全員賛成で原案どおり可決。

山北町特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の改正

期末手当を町長20%、副町長15%減額する特別措置を実施するために提案され、全員賛成で原案どおり可決。

山北町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の改正

教育長の期末手当を10%減額する特別措置を実施す

るために提案され、全員賛成で原案どおり可決。

山北町小児医療費の助成に関する条例の改正

小児の年齢を中学生修了まで拡大するとともに、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るために提案され、全員賛成で原案どおり可決。

山北町介護保険条例の改正

足柄上郡5町で共同設置している足柄上郡介護認定審査会を廃止する事に伴い、本条例の一部を改正する必要が生じたために提案され、全員賛成で原案どおり可決。



町道認定された平山工業団地内の道路

町道路線の認定

平山工業団地の造成に伴い、70号（宮ノ下線）、71号（宮ノ上1号線）及び26

8号（宮ノ上2号線）を新設し、周辺生活道路の整備をするために町道に認定する提案がされ、全員賛成で原案どおり可決。

指定管理者（非公募施設）の指定

山北町立玄倉テニスコート、山北町立丹沢森林館、山北町立丹沢薬草園を（財）山北町環境整備公社に指定管理者として指定する提案がされ、全員賛成で原案どおり可決。

足柄上郡介護認定審査会の共同設置の廃止に係わる協議

介護認定審査事務局を足柄上衛生組合で共同処理することに伴い、足柄上郡介護認定審査会を廃止する必要が生じたので提案され、全員賛成で原案どおり可決。

人事案件

山北町固定資産評価

審査委員会委員の選任

任期満了に伴い、再任の提案がされ、全員賛成で原案どおり同意しました。

高橋喜代美氏 山北町山北

山北町教育委員会

委員の選任

前任者の任期満了に伴い、新たに選任提案がされ、全員賛成で原案どおり同意しました。

瀬戸 安美氏 山北町山北

南足柄市山北町開成町一部事務組合議会議員の選挙

一部事務組合議会議員が平成22年5月29日で任期満了となるため、指名推選の選挙を行ったものです。3名の方が当選人と決定しました。

武井 眞純氏 山北町岸

尾崎 政男氏 山北町谷ヶ

小瀬 博之氏 山北町平山

補正予算

平成21年度

一般会計

事業費の確定による補正及び国の地域活性化・臨時交付金事業、地域温暖化対策事業等です。事業は22年度に実施します。

特別会計・水道事業会計

各会計の事業費の確定により提案され、全員賛成で原案どおり可決。

**第1回臨時会
（1月20日開催）**

山北町営土地改良事業（農道整備）の変更

浅間山農道における法面保護は、全線の石積みブロックであったが、石積みブロックでは対応できない高盛土区間が連続していることが判明したため、植生機能の利用により自然環境の保護ができる補強盛土工法に変更し、事業費を2億円増額、工期を24年度まで延長するものです。

全員賛成で原案どおり可決。

平成 22 年第 1 回臨時会 (1 月 20 日)

[illegible]

平成 22 年第 1 回定例会（3 月 4 日～ 17 日）

[illegible]

議案 番号	議 案	議員名（議席順）	結 果	佐 藤 光 男	湯 川 裕 司	川 村 俊 治	熊 澤 友 子	池 谷 莊 次 郎	石 田 進 二	杉 本 君 雄	細 川 哲 郎	茂 木 猛	瀬 戸 恵 津 子	岩 本 章 治	牧 田 礼 二	小 菅 光 雄
24	平成 21 年度山北町水道事業会計 補正予算（第 2 号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	平成 22 年度山北町一般会計予算		可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26	平成 22 年度山北町国民健康保険事業特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	平成 22 年度山北町老人保健医療特別会計予算															
28	平成 22 年度山北町後期高齢者医療特別会計予算															
29	平成 22 年度山北町災害給付見舞事業特別会計予算															
30	平成 22 年度山北町下水道事業特別会計予算															
31	平成 22 年度山北町町設置型浄化槽事業特別会計予算															
32	平成 22 年度山北町山北財産区特別会計予算															
33	平成 22 年度山北町共和財産区特別会計予算															
34	平成 22 年度山北町三保財産区特別会計予算															
35	平成 22 年度山北町介護保険事業特別会計予算															
36	平成 22 年度山北町商品券特別会計予算															
37	平成 22 年度山北町水道事業会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
38	町道路線の認定について(No. 70 号(宮ノ下)線)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
39	町道路線の認定について (No. 71 号(宮ノ上 1 号)線)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
40	町道路線の認定について (No. 268 号(宮ノ上 2 号)線)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
41	指定管理者（非公募施設）の指定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
42	足柄上郡介護認定審査会の共同設置の 廃止に係る協議について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
43	山北町固定資産評価審査委員会委員の選任について		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
44	山北町教育委員会委員の選任について		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
—	南足柄市山北町開成町一部事務組合 議会議員の選挙について	推指 選名	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告 1	平成 22 年度山北町土地開発公社 事業計画及び予算について	報 告 の み														
報告 2	平成 22 年度財団法人山北町環境整備公社 事業計画及び予算について	報 告 の み														

○は賛成、●は反対を表しています。本杉博是議長は、採決に加わりません。
また、報告については、採決の対象となりません。

議員の辞職

湯川裕司氏から、平成 22 年 3 月 31 日に、一身上の都合により議員辞職したい旨の申し出があり、同日付けで受理されました。

◆委員会審査報告◆

総務環境常任委員会

委員長 茂木 猛

副委員長 牧田 礼二

委員 湯川 裕司

同 川村 俊治

同 池谷莊次郎

同 岩本 章治

同 小菅 光雄

総務環境常任委員会では、山北町立日向活性化施設の設置及び管理に関する条例、山北町管理道路条例、山北町道路占用料徴収条例、平成22年度山北町一般会計予算、災害給付見舞事業、下水道事業、町設置型浄化槽事業、財産区（山北・共和・三保）、商品券の各特別会計予算および水道事業会計予算を審査しました。

やまきた 議会だより

山北町立日向活性化施設の設置及び管理に関する条例

川村委員 具体的内容と使用料の減免はどうなっているか。

産業観光課長 毎年行っている水源地域の交流の里づくり事業や品川区との交流で使用するなどです。

地域の生産団体や自治会は無料で考えております。

池谷委員 地域とはどこまでか、また午後5時以降



山北町立日向活性化施設

の対応は。

産業観光課長 日向地区

を中心に、町内の全町民を含めた中で考えております。利用時間は原則午前9時から午後5時ですが、変更も可能とし、対応していきます。

湯川委員 使用料の当初予算33万3千円、単価から150回位使用しないところの金額にならないが、どのような積算か。

産業観光課長 清水の

「ふれあいセンター」の単価と合わせています。内容

としては調理実習室、午前、月3日1700円、

午後、月4日2200円で

12ヶ月見込んでいます。加

工室につきましても同程度

を見込んでいます。

全員賛成で原案どおり了

承しました。

山北町管理道路条例及び、

山北町道路占用料徴収条例

川村委員 「赤道」に原材

料支給等で拡張して私有地

を使用しながら車が通行し

ている道の扱いは。

都市整備課長 底地が個

人名義の場所は町では管理

しません。しかし、町村合

併以前に林道として作られ

た道で、現在では地域の連

絡道として使用されている

ところ等は町が管理せざる

を得ないと考えています。

池谷委員 いまここで条

例を制定する背景は。

都市整備課長 近年、住

民の方の考え方も変化し、

権利関係で問題化する部分

もあり、管理する道路を明

確にするためです。

全員賛成で原案どおり了

承しました。

一般会計

川村委員 消費生活相談

事業で、南足柄市に相談セ

ンターがあるが、どのよう

な事業をされるのか。

産業観光課長 今回は国

の地方消費者行政活性化交

付金に基づいての100%

補助事業であり、パトロー

ル用の公用車、啓発用モニ

ター、相談窓口用看板設置

を考えています。

池谷委員 災害時のヘリ

ポートで各地区の調査結果

を反映させる予算は計上し

ないのか。

総務防災課長 自衛隊と

候補地の現地調査を実施す

る調整をしていますが、予

算は特に計上していません。

岩本委員 定住対策で、

新しい制度のPRをどのよ

うにするのか。

定住対策室長 パンプ

レットの作成、町ホーム

ページ、広報への掲載、タ

ウン誌などへの掲載、不動

産事業者との情報の相互乗入れ等を検討しています。

牧田委員 衛生費が大幅

減の要因は。

町長 環境センター返済

が終わったことに依ります。

川村委員 行政ホーム

ページ推進事業で新しい

ホームページへの移行はど

のようになっているのか。

企画財政課長 既存の

ホームページ半年分の更新

委託料と、残りの半年分の

新しいホームページ管理利

用料と導入時の事務的な手

続きの費用を併せた予算で

す。情報は各担当がリアル

タイムで更新します。

川村委員 職員によって

ホームページの内容に差が

出て、見づらくならないか。

企画財政課長 企画財政

課がセキュリティを含め、

しっかりとした管理をして

いきます。

川村委員 東山北駅周辺

の魅力づくりで、検討会な

どの予算はどのようになっ

ているか。

定住対策室長 引き続き、

まちづくり交付金事業費の

駅周辺魅力づくり検討事業

で山北駅周辺の空き店舗モデル事業や東山北駅周辺の検討を行っています。



整備が検討されている東山北駅周辺

岩本委員 丹沢湖イルミネーション設置委託料とクリスマスイベント助成金について、今年は丹沢湖で復活するのか。
産業観光課長 平成22年度は地域で行いたいとの意向が町にきています。
岩本委員 昨年清水地区で実施したが、この予算はないのか。
産業観光課長 清水については予算は計上されておりません。
湯川委員 電算管理運用事業にシステム改修費用が予算化されているのか。

企画財政課長 クライアント・サーバ・システムを導入しましたので、必要な場合のみ補正予算等で対応したい。

川村委員 住居手当のうち、築後6年以上の持家への助成については廃止すべきではないか。
総務防災課長 県などの動向を見ながら検討していきます。

牧田委員 岸地区の急傾斜地事業は160万円可能か。
都市整備課長 県から、事業実施決定の報告はまだありませんが、平成21年度調査、平成22年度計画、平成23年度詳細設計、平成24年度以降に工事となる予定です。

岩本委員 昨年は実施できなかった丹沢湖砂利浚渫事業の見通しは。
都市整備課長 県企業庁との協定で、昨年同様の金額を計上しました。天候により達成は不確定です。
小菅委員 山北駅北側住宅対策住宅等検討調査は住宅と店舗を合わせて検討すべきと思う。また転出される前に防ぐ努力はされているのか。
町長 子育て支援や住まいづくり制度では、転入ばかりではなく、転出への抑止も考えています。
定住対策室長 新築祝金は転入者のみではなく、町内転居についても対応しており、若者世帯の転出防止を考えた制度です。
全員賛成で原案どおり了承しました。

特別会計

下水道事業

牧田委員 未接続世帯への考え方は。
生活環境課長 接続率は77.7%となっております。若い世代で下水道が繋がっているのを知らない方もあり、広報等でお知らせして接続率を上げていきたい。

牧田委員 整備率88.5%に対する残りの11.5%はどこか。
生活環境課長 向原の安洞地区と国道246号線バ

イパス工事の関係で村雨地区などです。

川村委員 資本費平準化債の借入額が多くなりすぎれば悪影響を及ぼすが、借入ができるのはいつまでと考えるか。
企画財政課長 借入期間が減価償却期間を超えない期間までとしています。

川村委員 整備率88.5%で、下水道中期ビジョン策定業務委託料として、想定している今後10年間の計画とはなにか。
生活環境課長 建設だけでなく、設備の維持管理、改修などに対して計画的に処理するものです。

池谷委員 公共下水道台帳作成業務委託料では既存台帳をコンピュータ化するのか。
生活環境課長 平成17年に整備した下水道台帳へ、その後に整備した区域を追加します。

企画財政課長 公会計システムに対応する部分もあります。
全員賛成で原案どおり了承しました。

町設置型浄化槽事業
牧田委員 この特別会計は今後も続くのか。また、汚泥はどのようになっているか。
生活環境課長 維持管理があり継続します。汚泥は抜き取り足柄上衛生組合で処理されます。

岩本委員 三保地域以外でも補助の対象になるのか。
生活環境課長 丹沢湖周辺だけです。他地域につきましては、個人設置型の合併浄化槽として助成金はあります。
町長 水源環境税の対象は、三保ダム集水域となっております。
全員賛成で原案どおり了承しました。

商品券

湯川委員 プレミアム付商品券について、1年で止めるのはどうなのか。本来3年とか4年続けるべきではないか。
町長 他の市町で、これを2〜3年続けるというのは聞いていません。将来的には常時1割付加など恒常

的なプレミアムを考えております。当初予算ではプレミアムを考えていませんが、町民の方々と商工会等の意見を聞きながら、実施する場合は補正等で対応します。
賛成多数で原案どおり了承しました。

災害給付見舞事業、財産区
(山北・共和・三保)の各特別会計については質疑がなく、全員賛成で原案どおり了承しました。

水道事業会計

池谷委員 原水からくみ上げてくる量と各家庭で使っている量には差があるのか。
生活環境課長 消火栓や夜間給水していない時間帯で捨てるを得ない水量などが、取水量と配水量には差があります。漏水の点検は随時行っています。

全員賛成で原案どおり了承しました。

福祉教育常任委員会

委員長 瀬戸恵津子
副委員長 熊澤 友子
委員 佐藤 光男
同 石田 進二
同 杉本 君雄
同 細川 哲郎
同 本杉 博是

福祉教育常任委員会では、平成22年度山北町一般会計予算および国民健康保険事業、老人保健医療、後期高齢者医療、介護保険事業の各特別会計予算を審査しました。

一般会計

細川委員 文化財保護事業の地域伝統芸能保存業務委託料の詳細を説明願いたい。

芸能を他の行事の時に発表することはどうか。
教育長 何らかの活用を検討します。

熊澤委員 独居老人緊急医療情報キットは何名分か。
福祉課長 350名です。

生涯学習課長 町指定の谷ヶ白旗神社祭り囃子を映像記録で保存するものです。みこし、囃子を練習風景と当日の6日間撮影します。

医療情報の記入・保管方法の確認などは、民生児童委員、地域包括支援センター、福祉課が連携・協力し進めていきます。

細川委員 保存も大切だが、見てもらう機会をつくる考えはあるか。
生涯学習課長 地域や団体等には貸し出しますが、発表の場を設けることは考えていません。

石田委員 これらの伝統

杉本委員 放課後子ども教室は、コーディネーター1名と数名の安全管理員で実施すると聞いているが、児童の参加人員が多数となった場合の対応と実施時期はいつになるのか。
生涯学習課長 予算では

コーディネーター1名と5名の安全管理員を予定しています。運営委員会を設置し実施します。アンケート調査を行ったところ、142名の希望がありました。5月以降の開催となります。
佐藤委員 文化財保護事業の樹木保険料は、指定文化財の樹木が倒れた時の保険か。
生涯学習課長 木そのものの保険ではなく、指定の木が倒れたり枝が折れた際に、何かに損害を与えた場合のための保険です。

生涯学習課長 指定樹木の自然災害による損害補償であり、町が一括して保険料をかけています。
石田委員 小児医療費助成事業の中学生までの拡大については何名か。
福祉課長 増額分約600万円については、330名分を計上しています。
杉本委員 山北体育館は老朽化が激しいが、修繕等はどうしていくのか。
生涯学習課長 小規模な修繕費用については、体育施設費で対応します。

副町長 体育館建設は、総合計画後期基本計画の中で調査検討項目となっています。
細川委員 パークゴルフ場の整備事業費が計上されているが整備後の予定は。
生涯学習課長 22年度で設計管理費と整備工事費を計上しており、23年3月に完成し、その後芝生の養生等に期間が必要なので、23年度後半以降の使用となります。
佐藤委員 パークゴルフ場工事の入札は、専門業者を指名するのか。
副町長 その予定です。

町内の工事業者でも施工可能か専門業者に意見を聞いた中で検討します。
石田委員 ドクターヘリに関する2つの負担金について、違いは何か。
健康づくり課長 県ドクターヘリ支援協議会負担金
生涯学習課長 トロフィー代を計上しています。実行委員会が記念大会の賞品等の準備をします。
佐藤委員 川村小学校の学校管理費が減っているが主なものは何か。
学校教育課長 21年度水道の漏水改修工事を行ったところ、光熱水費が大幅に改善され、下水道使用料と併せて減額しています。
石田委員 通学補助金の区域は決まっているのか。
学校教育課長 2km以上の三保・清水・高松地区で、役場職員の手通勤費を基準に金額を出しています。
石田委員 バスで通っている人もいるし、改善する必要があるのではないか。



山北体育館

学校教育課長 現在、車で
の送迎が主流なので、バス
通学が増えてくれば検討
します。

熊澤委員 紙おむつ支給
事業の対象者は何人か。ど
のように行っているか。

健康づくり課長 22年度
からは第1子から支給しま
すので、年間出生見込み数
の70名を対象にしています。
取扱店は現在6店の薬局中
希望のあった3店です。支
給対象が増えることから、
希望がなかった3店にも確
認をとる予定です。

杉本委員 食育推進計画
の策定はどのように進める
のか。

健康づくり課長 平成20
年度に県計画が策定された
ことを受け、22年度に策定
するものです。方法として
は、県計画を基本に、生産
者、食・健康関係、教育等
各方面の方々を委員にお願
いし、山北の地場産である、
みかん、茶、梅の活用や地
産地消の取り組み等も取り
入れていきます。

瀬戸委員 健康づくりポ
イント事業は、目標を20

00人としているが、現況
と、備品を購入してどのよ
うに活用するのか。

健康づくり課長 ポイン
ト事業の参加者は、100
0人を超えています。備品
購入は、万歩計30台とデー
タを解析、記録するパソコ
ンを予定しています。現在
はウォーキング等による健
康づくりの意識付けの段階
ですが、万歩計導入後は、
記録データを解析し、その
人に合った運動量や健康管
理を指導できます。万歩計
は貸し出します。

杉本委員 健康福祉セン
ターでロッカーを購入する
とのことだが設置場所は、
どのことだか設置場所は。

健康づくり課長 1階で
す。料金は2000円とし、
利用時間はセンターが開い
ている時間内です。

佐藤委員 遠藤奨学金の
使い方と歳入見込みの内容
は。

学校教育課長 各学校の
図書費として、均等割と児
童・生徒割によって配分し
ています。歳入の見込みは、
東京ガスの株配当金です。
全員賛成で原案どおり了

承しました。



特別会計

国民健康保険事業

細川委員 中学生まで医
療費を無料化することによ
り、受診率の増加につな
が、国保の療養給付費が増
加することも考えられるが、
その分を予算で見込んでい
るか。

町民課長 一般会計での
見込みは、600万円です。
国保会計への影響は少ない
と見込んでいます。

杉本委員 人間ドックの
助成金については、2万円
補助で130件分が予算計
上されているが、利用者は
増加しているのではないの
か。この制度の周知方法は
どうしているのか。

町民課長 平成21年度よ

り助成額を増額しています。
21年度は130名の予算に
対して120名の方が助成
を受けており、被保険者の
希望に依っていると考えま
す。4月の広報でお知らせ
する予定です。

熊澤委員 一般被保険者
の高額療養費ですが、前年
度比895万5千円の増額
となっているが、どの程度
の方を見込んでいるのか。
また高額医療費の受給方法
は。

町民課長 3171人分
の療養給付費です。一般の
方のケースでは限度額8万
1000円を基準に、医療費
が26万7千円を超えた場合
には超えた分の1%を加算
した額までとなり、以外は
国保に請求されます。該当
される方には、国保より申
請書を郵送します。
全員賛成で原案どおり了
承しました。

介護保険事業

熊澤委員 介護予防普及
啓発事業の水中運動教室が
前年度と比べて半額以下と
なったことは、自主サーク

ル化したためと説明を受け
たが、どのようにサークル
化しているのか。

福祉課長 介護予防事業
とは区別し運動活動として
います。

杉本委員 特定高齢者把
握事業では、特定高齢者は
44名ということだが年齢内
訳は。

福祉課長 年齢の分析は
していません。44名まで絞
った経緯は、65歳以上の方
3500人全員に基本
チェックリストを送付し、
25項目のチェックの後、該
当された254名の方につ
いて医療機関で受診して頂
き、特定高齢者と判定され
た方が44名です。

杉本委員 地域包括支援
センターは現在の職員数で
対応できているか。

福祉課長 主任ケアマ
ネージャー、保健師、社会
福祉士の三職種が揃い、現
体制で充分に対応可能です。

佐藤委員 介護認定審査
会が新たに共同設置される
というが、この負担金は今
年度限りか。

福祉課長 毎年負担する

ものです。前年の審査件数
実績に応じて負担します。
22年度は600件を予定し
ています。

細川委員 一般会計から
の繰入金1億3千万円の内
介護保険にどのくらい繰り
入れているのか。

福祉課長 法に基づく要
介護1から5の方のサービ
スに係わる事業が12.5%
地域支援事業の介護予防事
業が12.5%、包括的支援
事業・任意事業が20%の負
担割合として繰入金となっ
ています。さらに、給与や
システム改修費等を繰り入
れています。

全員賛成で原案どおり了
承しました。

老人保健医療、後期高齢者
医療の各特別会計について
は質疑がなく、全員賛成で
原案どおり了承しました。





岩本 章治議員

町民サービス

一般質問

※質問者本人が
原稿を作成し
ています

Q ▶ カードで手数料等の支払いは

A ▶ 慎重に対応することが大事です

質問 住民基本台帳ネット

ワークシステムが、平成14年8月に稼動しました。住民負担の軽減とサービスの向上と、国・地方公共団体を通じた行政改革と題して運用されていますが、その後の利用拡大はあるのか。

答弁 住民基本台帳ネットワークシステムの運用は、転入通知、年金受給者資格者と住所変更等の確認が迅速に把握でき、負担の軽減とサービスでは、各種資格の申請時に住民票の添付省略、全国どこでも住民票の交付が受けられ写真付のカードは身分証明書として活用でき、効果は400億円とされています。

質問 社会の中ではあらゆる分野でカード化が進み、日常生活はカード無しでは支障が生じるまでに普及しております。

2月1日路線バス廃止を補う町循環バスもカード利用が

可能になりました。庁舎の手数料等も端末を設置して、支払いできるシステム化は検討に値するか。

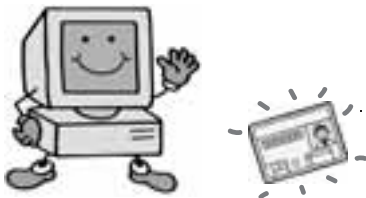
答弁 庁舎の端末設置は、カード会社に支払う初期費用、月額費用、処理費、庁舎内の会計システム、条例改正等多額の費用を要しますので、慎重に対応する必要があります。

質問 個人情報保護の点で被害が生じた自治体はありますか。

答弁 現在まで把握していませんが、住基カードの不正請求が1件あったことは聞いています。

質問 庁舎の近くにATM設置の考えは。

答弁 お年寄りの利便性を考慮した中で検討します。



都市交流

Q ▶ 山北つぶらの公園とふるさと館の対応は

A ▶ 本年から順次開始します

質問 山北つぶらの公園は、元簡易保険福祉事業団の計画中止やオオタカの営巣が確認されたこともあり、実施が遅れているが、1期分の推進日程は。

答弁 平成22年から工事に入り、完成は平成26年度とされております。

質問 公園に足湯が計画されているが町の係りは。

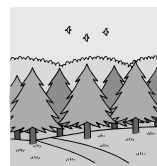
答弁 平成9年に温泉が湧出し、12年が経過しているので平成22年度に温泉の湧出及び成分を再確認するために温泉湯試験を実施します。今後は調査結果で、公園内の足湯や簡保跡地の温泉利用を含めて、県と十分調整を図り進めていきたいと考えております。

質問 町のふるさと館と里の茶屋の計画は。

答弁 現在の構想案は、観光案内、軽食、地場産品の販売と体験コーナーなどを設け、交流の場として地域振興の拠点となる施設づくりを考えております。今後の整備予定は平成24年度実施設計、平成25、26年度に建築を予定しております。

質問 ふるさと館の面積が500㎡から2000㎡になった理由と要望は可能か。

答弁 本設計は平成23年であり、概算計画では2000㎡ですが要望は可能と考えております。



地上デジタル放送の対応は

平成23年7月24日でアナログ放送が終了し、今までのテレビで見ることができなくなります。

質問 共聴施設の改修に対する補助は。

答弁 国やNHKの補助制度の適用を受けることができます。町内の共聴施設は24施設あり、対応済みが10施設、改修中が5施設。平成21年度3月補正で3施設の助成を計上しました。

質問 低所得者や障害者への対応は。

答弁 国では経済的な理由で地上デジタル放送を見る環境を整備できない世帯に対して支援を行っております。



杉本 君雄議員



池谷 荘次郎議員

まちづくり

Q ▶ 童謡・唱歌をどのように生かすのか

A ▶ 町民に広めていきたい

質問

ひばり児童合唱団の経歴は、昭和19年に皆川和子氏が山北町に疎開され、歌の稽古に励んだそうです。21年NHK学校放送再出演と同時に「ひばり児童合唱団」と改め現在に至っています。22年に最初の演奏会を山北町川村小学校で開催し、23年には2度目の演奏会を、25年に山北から鶴見に移りました。26年に山北町への演奏旅行をされております。

町では、童謡・唱歌日本一に力を入れるといわれるが、「ひばり児童合唱団」の歴史を考え、町民が親しみ、全国に発信するにはどのような施策を取るのか伺います。

答弁

童謡・唱歌を通じて心の優しさ、心の温かさ、心のふれあいを学ばせるとともに、親と子、祖父母と孫、地域

の大人と子どもたちなど家庭や地域の多くの人たちがふれあう中で、歌声があふれる明るいまちづくりを目指したいと考えています。

22年度は、幼稚園・保育園・小学校においてどのような場面に取り入れられるか実践と試行錯誤をする中で、今後の

見通しを立てていく年と考えています。

また、町民に対しては、コーラスグループなどと連携を図るとともに、各種行事等で積極的に歌ったり、BGMとして会場に流したりすることを考えております。

観光圏推進協議会について

質問

神奈川県において昨年9月7日に神奈川県観光条例が可決され、県西圏として箱根、湯河原、熱海、あしがら

観光圏推進協議会を開催され、各行政・観光事業者関係者へ説明がありました。町では観光立町として、大いに利用すべきと思うが、行政の役割としての考えを伺います。

答弁

圏域内の主要宿泊施設のある箱根町と連携し、1泊は中川温泉を利用し、翌日は観光スポットに立ち寄るなど回遊性を持たせることや、関係市町と連携を取りながら観光協会、商工会、町内関連団体と調整して事業計画に反映させ、補助制度が活用できるように推進していくことが行政の役割と考えています。

定住対策

Q ▶ 山北駅北側の再開発

A ▶ 具体化にむけて取り組む

定住人口の増加と

地域活性化

質問 山北駅北側定住対策住宅等検討調査事業の具体的な内容は。

答弁 平成21年度から調査事業を実施し、22年度は基本構想を基に地域住民や商店振興会へ説明を行うとともに、事業手法の検討等を行い、基本計画を策定し、平成25年度の完成を目指して進めます。

質問 住まいづくり応援事業助成金について。

答弁 転入者の受け入れや若者・中堅世代の定住、空き家の利用を促進することが目的です。

新築祝金は戸建て住宅を取得した際に、20万円を交付します。

空き家活性化助成金は、整備等に係る費用の一部として10万円を限度に助成します。

勤労者等住宅利子補助事業は、借入の対象額を500万円に拡大します。

質問 駅北側公共用地の活用については、隣接地権者等への説明の結果はどう捉えたか。

答弁 検討することについて

て了解を得たと思っている。

十分な配慮をもった上で対応し実現に努力します。

商品券の今後のあり方

質問 お楽しみ券つき商品券は発行しないのか。

答弁 商工振興のため昨年は2回発行し、販売額は500万円を超え、所期の目的は達成できたと考えています。今後は状況を見ながら考えたい。

童謡唱歌教育

質問 具体的に学校教育の中でどのように取り入れるのか。

答弁 学習指導要領が改訂されたので、学校に大きな負担をかけられませんが、学習する音楽科や特別活動等を中心に、朝の会や行事の中で取り組んでもらう。特に幼稚園

保育園や地域の合唱団と連携して進めていきたい。

質問 ひばり児童合唱団発祥の地として発信していく考えは。

答弁 できればやっていきたい。



瀬戸 恵津子議員



川村 俊治議員

情報発信

Q ▶ ホームページによる情報発信の改善を

A ▶ リニューアルします

質問 ホームページによる情報発信の目的は何か。

答弁 行政サービスの窓口としての情報発信、観光やイベント、まちづくり情報を全国にアピールするものです。

質問 現在の内容は町が意図するものになっているか。不都合はないか。

答弁 情報がリアルタイムに発信できない、更新に時間がかかる、委託料が増加傾向などの問題が生じている。

質問 どの分野の情報が利用されているかの分析はできているか。

答弁 細部について分析や他の問題点などを解決するためにホームページのリニューアルを平成22年度で計画しています。

質問 防災についての情報は一般論である。山北町は東海地震の防災対策強化地域に指定されているので、この際「我が家の耐震診断」のような簡易耐震診断の手法を紹介してはどうか。

答弁 前向きな提案でよいことだと思うので、予算の範囲内のできるであれば取り入れた。



質問 住宅用火災警報器の設置は平成23年6月1日から条例が実施される。PRをする必要があると思うがどうか。

答弁 広報に掲載しているが、広報を見ていないことを前提で取り組みたい。

質問 台風・大雨について県が調査した土砂災害警戒区域の情報を住民に知らせる必要があるのではないか。

答弁 神奈川県ホームページに詳細な地図が載っている、町のページからリンクさせます。

質問 山北町に両親を残し、他の地域に住んでいる人達がホームページを見て親や郷土に愛着を感じる情報を提供すべきだと思う。

答弁 山北町の近況を提供することは大切であり、定住対策の点からも十分PRしていきたい。

交通安全

Q ▶ 安全快適な道路を

A ▶ 関係機関に働きかけます

地方自治体が重視されることから、町が積極的に国道や県道などに対して、道路と人の関係を提案していく必要がある。

質問 国道246号線瀬戸バイパスは歩行者通行禁止にすべきでは。

答弁 国土交通省では、今後4車線化とあわせて歩道を設置する予定ですが、歩行禁止にできるのか、関係機関に申し入れをしたい。

質問 県境付近の1車線化により安全は確保されるか。

答弁 清水橋から静岡県境は、スピードを出す車が多く、年間30件の交通事故が発生しているため、松田警察署が国土交通省と協議し、事故防止のため、1車線化工事を2月に実施した。町も国土交通省に早期完成を要望してまいります。

質問 施工済みの箇所について、町には相談があったのか。

答弁 町には一切なく、警察と国土交通省で決めた。

質問 河内川沿いに歩道の無いところがあり、改善されるべきと思うがどうか。

答弁 県道76号の歩道については、県では緊急性を最優先しており、直ちに事業に着手するのは困難とのことであるので、歩行者の安全確保のため、県にねばり強く要望します。

質問 新鞠子橋の谷ヶ方面への右折レーンでの対向車が接触しそうな不安を解消できないか。

答弁 右折待機車線車両への不安解消等については、国土交通省では今後現地の状況をみながら、適切に対処検討していくことであるので、町としても引き続き要望します。

質問 道路と人はどうあるべきか、長期的な考えが必要ではないか。

答弁 町では県や国に道路の安全・安心の向上を図るための要望を行い、地域の情報を的確に伝え、道路の不安を除き、快適な車両の運転や安全な歩行を可能とすることが、行政の役目と考えています。



将来構想



湯川 裕司議員

Q ▶ 透間地区の土地の有効利用は

A ▶ 広大な面積で今の経済情勢では難しかった

質問 高松地区の土地利用は、国や県に対し具体的にどう取り組んでいるのか。

答弁 従来の畜産団地等整備構想にこだわらず、畜産団地も含めた幅広い業種を視野に入れた中で産業団地を整備し企業誘致を図ります。

質問 ハイツ&ヴィラ中川の跡地利用は県に対しどのような取り組みをしているのか。

答弁 三保地区にパークゴルフ場を整備することによって、観光人込客や雇用の促進、地場産業の振興などが図られると考え、昨年10月に三保地域振興会の方々を中心に跡地利用計画の説明会を実施し実現化に向けて検討を進めたい。

質問 河村城址歴史公園のこれまでの取り組み経過と事業費は。

答弁 本城廓より馬達戸まで発掘調査を行い、橋脚遺構などを検出し、本城廓東側堀切及び架橋の整備を実施しました。事業費は総額7億4千万円を投入しております。

質問 町民に対し十分な説明がなされていないのでは。

答弁 平成18年に各自治会等に説明し、この3月中旬に中

期整備概要についての事業説明会を予定しております。

質問 透間地区の砂利採取跡地利用はできないと言われたが何を根拠に4年間で実現すると言ったのか。

答弁 行政に携わる前でしたから、若干見通しの判断が甘かったが4年間に方向づけをしたい気持ちで申し上げた。

質問 この砂利採取跡地は新産業創生ゾーンに位置づけられており、それに見合った有益な企業等を誘致することの方向性を出すと言われた。4年間の努力が見えないので、公約違反と言われても仕方がないと思うが。

答弁 町所有の土地でなく、町単独では難しいので、県に現場を見ていただき、整備手法や企業誘致について具体的な説明をしたが、広大な面積で今の経済情勢では難しかった。



命の安全

Q ▶ 女性がん検診無料クーポン券配布は

A ▶ 継続していきます



熊澤 友子議員

児童の安全対策

質問 本町では2月に2件の不審者情報があり、児童の安全は、町・学校・地域で見守ることが大切だと思われるが、現状の取り組みと今後の課題を伺います。

答弁 町では、毎日下校時に車で町内を巡回しています。学校と地域では、集団下校に教職員が引率し、PTAやボランティアの方々と、岸地区のサンポートロール隊や各地区の防犯パトロール隊の方々が、通学路の巡回や見守りを行っております。今後は、子ども110番の家の確認と新しい表示板の設置を行い、広く周知を図り、防犯協力をお願いしていきます。

質問 事件後は、巡回も強化されますが子ども達の安全を永久的に守っていくためには、地域の方々やボランティアの皆様に見守っていただくと共に、町民皆様に下校時に合わせて、犬の散歩や買い物等に歩いていただけるように訴えていくという考えは。

答弁 防災無線で注意を呼びかけるとか、連合自治会長会議を通じて、地域の方に見

守っていただくようお願いするなどの対応をしていきます。

女性特有のがん対策

質問 21年度は検診の無料クーポン券と検診手帳の配布が実施され、子宮けいがん予防ワクチンが日本でも承認されましたが、費用は高額です。今後の検診無料クーポン券事業と、ワクチン接種への取り組みについて伺います。

答弁 クーポン券事業は、継続して進めていきます。ワクチン接種は国や県に公的補助の要望を行っています。

質問 ワクチン接種は、10歳以上の小学生や中学生に一番効くワクチンです。子宮けいがんについて、学校で教えていただくのが良いと思われるが、考えを伺います。

答弁 子宮けいがんについては、学校長等を通して子ども達や家庭でも認識を持っていただき、健康管理に努めていかなるようになりたいと思います。



議会活動報告

2 月

- 5 足柄上衛生組合議会定例会
- 10 県町村議会議長会役員会・定期総会
- 12 西湘地区 2 市 8 町議会正副議長会
- 15 あしがらブロック会議
- 17 行政視察（長野県下條村）
- 19 全員協議会
- 23 議会運営委員会

3 月

- 4 第 1 回定例会・本会議
- 5 第 1 回定例会・本会議
- 〃 全員協議会
- 9 第 1 回定例会・本会議
- 10 第 1 回定例会・本会議
- 〃 全員協議会
- 11 常任委員会
- 16 第 1 回定例会・本会議
- 17 第 1 回定例会・本会議
- 23 足柄西部清掃組合議会定例会
- 26 足柄消防組合議会定例会

4 月

- 1 議会だより編集委員会
- 8 県町村議会議長会役員会
- 9 議会だより編集委員会
- 16 議会だより編集委員会
- 21 議会だより編集委員会

表彰



牧田礼二氏は、町議会議員として 15 年以上にわたり地域の振興発展に尽力された功績により、全国町村議会議長会より表彰を受けられました。

第 2 回臨時会

5 月 12 日 (水)

6 月定例会 (予定)

6 月 2 日 (水) ~ 4 日 (金)

庁舎内テレビでも放映しています

お問い合わせ 議会事務局 75-3653

議会の傍聴に

おいで下さい



●議会ホームページ● <http://www.town.yamakita.kanagawa.jp/gikai/>



町の花「ヤマブキ」

●表紙の写真は、「ソーラン山北よさこいフェスティバル 2010」です。

編集後記



桜の花の咲く時期に、国道から町内を見渡すと、町が桜のピンク色に包まれてとても素敵です。そして桜並木には、数多くの方々が訪れ、にぎわっており、楽しいひとときを過ごされたのではないのでしょうか。

3 月定例会では、H22 年度の予算が決まり、定住対策や子育て支援に新規事業が盛り込まれました。若い世代の方々が山北町に住んで良かったと思われるように、議会では今後もしっかり審議してまいります。

議会だより編集委員会では、議会の内容を正確にわかりやすく、町民の皆様にお伝えしていきますように、努力してまいります。ぜひご意見・ご要望を議会事務局までお寄せくださるようお願い申し上げます。

委員長 杉本 君雄
副委員長 池谷 次郎
委員 川村 俊治
熊澤 友子
茂木 猛
瀬戸 恵津子